

集団精神療法にご関心をお持ちの皆様

東北集団精神療法研究会 平成 27 年度第 5 回 研修会（事例検討）のご案内

東北集団精神療法研究会実行委員会

向春の候、みなさまにおかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて当研究会では、2 月 28 日に事例検討会を開催いたします。参加希望の方は下記をご参照の上、お申し込み下さい。集団精神療法や集団力動に関心をお持ちの、多くの方のご参加を、お待ちしております。

記

1. 内容 第 5 回研修会「事例検討」

スーパーバイザー 高林 健示先生（クボタ心理福祉研究所・東京集団精神療法研究所）

事例提供者 小黒 明日香氏（臨床心理士、札幌市児童相談所）

<事例概要>

行政機関の相談実務担当者会議における事例検討の意義-ケースワークに還元されるグループワークの模索-

今回は、保健医療・福祉・教育の広義の臨床現場において、対象者に治療的な関わりを目指して実施されるグループではなく、組織や業務を「グループ」として見立てたことについて、検討いただきたい。通常業務の「定例会議」を「グループワーク」として捉えることで、相談対応である「ケースワーク」が向上していったと考えている。当日は、治療以外にも日常業務に「グループ」という手がかりを活かすという視点で、みなさんと協議したい。

※ 本発表は、日本集団精神療法学会第31回大会 テーマセッションⅢ「喪失」で発表した内容を一部加筆修正したものである。

2. 日時 2016 年 2 月 28 日（日）13:00-16:00（受付開始 12:30）

3. 会場 仙台市医師会館（仙台市若林区舟丁 64-12）地下鉄南北線「河原町」下車 北 1 出口徒歩 3 分

4. 参加費 6,000 円（参加決定後、振込先等のお知らせをいたします）

5. 対象 医療、保健、福祉、教育、司法矯正等に携わる医師・看護師・保健師・心理職・精神保健福祉士・作業療法士 等（医療・相談・支援等にかかわる方で、守秘義務を遵守できる方）

6. 参加申し込み方法

2 月 19 日（金）までに、メールにてお申し込みください。

<申し込みアドレス tohoku.group.study@gmail.com>

メールの件名を「2 月研修申し込み」とし、①氏名、②所属、③職名、④連絡のつくメールアドレスを記載の上、お申し込み下さい。参加決定後、振込先を e-mail でお知らせいたします。

* 集団精神療法学会キャンディデイトの方：研修受講証明書ご希望の方はその旨お知らせ下さい。

講師略歴

高林 健示先生（クボタ心理福祉研究所 所長、東京集団精神療法研究所）

早稲田大学第一文学部（哲学科心理学専攻）卒。都立世田谷リハビリテーションセンター、都立梅ヶ丘病院、都立松沢病院等でのグループの臨床や、日本赤十字看護大学学生相談、産業領域での臨床活動を経て、現在、クボタ心理福祉研究所所長、東京集団精神療法研究所取締役、東京国際大学大学院（講師）、他を勤める。グループサイコセラピスト、日本集団療法学会認定スーパーバイザー、産業カウンセラー、認定健康心理士などの資格を持ち、日本集団精神療法学会（常任理事）、International Association Of Group Psychotherapy (IAGP) 等の学会での活動も精力的におこなっている。

東北集団精神療法研究会事務局

E-mail: tohoku.group.study@gmail.com（お問い合わせはメールにてお願いいたします）

連絡先：〒028-3694 岩手県紫波郡矢巾町西徳田 2-1-1

岩手医科大学教養教育センター心理学・行動科学分野 藤澤美穂